

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・町内の小・中・高等学校で入学式
- ・転入教職員歓迎式を開催
- ・『放課後児童クラブ』がスタート
- ・エレンさんの英会話教室
- ・3月臨時・定例教育委員会
- ・スポーツセンター・スタードームの利用について
- ・図書室だより
- ・青少年センターからのお知らせ
- ・放課後子ども教室活動紹介

## 町内の小・中・高等学校で入学式

4月に入り、肌寒い日はあるものの、日を追うごとに日差しが春らしくなってきました。4月初旬、大きなランドセルや大きめの制服を身につけた新1年生の入学式が町内の各学校で行われました。

今年は小学校で36人、中学校で34人、厚真高校で23人の計93人の1年生が入学し、大きな希望を胸に抱きながら、学び舎(や)への第一歩を踏み出しました。学校別では、厚真中央小が23人、上厚真小が13人。中学校では、厚真中が20人、厚南中が14人となっています。

一方、暖かくなるにつれて、子どもたちが屋外で活発な活動をする季節にもなってきました。各学校では、校区内の危険な場所を示したマップの作成をするなど、事故の未然防止に努めています。保護者や地域の皆さんも、日ごろから子どもたちの交通事故防止や、池や川・用水路などによる事故防止に向けた、十分な指導をお願いします。

また、教育委員会と青少年健全育成委員会では、町内の全家庭・全事業所に依頼しての『子どもを褒め者から守るひなんの家』運動や、町内全域が子ども110番の実施地区であることを示す【子ども110番パトロール地区】の看板設置など、関係各方面と連携しながら子どもの見守りに取り組みます。

今一度、子どもの安全について各家庭・地域で再確認し、未来を担うかけがえのない子どもたちを守り育てていきましょう。



上厚真小学校入学式(4月7日)

10人が新たに着任!

## 転入教職員歓迎式を開催

4月1日付け等で町内の各小中学校の教職員人事異動があり、3人が退職・8人が転出され、11人が新たに着任しました。4月4日には、青少年センターで『転入教職員歓迎式』が開催され、宮坂尚市朗町長、木戸嘉則町議会副議長、佐藤泰夫教育委員長、教育委員などが出席。宮坂町長による町のイラストマップを使ったまちづくりの紹介などが行われました。転出、転入された教職員は次のとおりです。

転入【敬称略】

上厚真小校長 西田 直(渡島管内北斗市立大野小)  
 厚南中校長 細野 輝彦(登別市立登別中)  
 厚真中教頭 堀田 裕之(北海道教育庁学校教育局  
 義務教育課指導主事)  
 厚真中央小教諭 本村 瞬(登別市立富岸小)  
 上厚真小教諭 西 香寿巳(苫小牧市立明野小)  
 厚真中教諭 阿部 雄太(苫小牧市立沼ノ端中)  
 厚真中教諭 加藤 康平(苫小牧市立凌雲中)  
 厚真中教諭 滝口 翔平(北海道立砂川高校)  
 厚南中教諭 蝦名 隆幸(室蘭市立翔陽中)  
 厚真中事務職員 白幡 麗(豊浦町立豊浦小)  
 厚真中事務主任 橋本 隆夫(安平町立追分小)

転出【敬称略】

上厚真小校長 油谷 諭(退職)  
 厚南中校長 村田 宏文(安平町立早来中)  
 厚真中教諭 砂金 佳伸(登別市立緑葉中)  
 厚真中央小教諭 下村 いくよ(退職)  
 厚真中央小教諭 高石 大輔(安平町立追分小)  
 厚真中教諭 児島 芳之(苫小牧市立明倫中)  
 厚真中教諭 中村 都(退職)  
 厚南中教諭 木根 将嘉(むかわ町立鶴川中)  
 厚南中教諭 渡部 光一(苫小牧市立和光中)  
 厚真中事務職員 秋元 恵一(苫小牧市立拓進小)  
 厚南中事務職員 加藤 謙一(登別市立富岸小)

# 『放課後児童クラブ』がスタートしました。

これまで留守家庭の児童の安全・安心な居場所として、また、放課後等の交流の場として親しまれてきた『学童保育』が、『放課後児童クラブ』として新たなスタートを切りました。

主な変更点は、次のとおりです。

(1) 運営者の変更

これまで役場町民福祉課子育て支援グループが学童保育の運営を担当してきましたが、4月から教育委員会生涯学習課社会教育グループが運営担当を引き継ぎます。これにより、放課後子ども教室など関連の深い教育活動と一層連携が図りやすくなります。

(2) 利用対象を小学6年生まで拡大

子ども・子育て関連の法律改正に基づき、これまで小学4年生までとしていた受入れ対象年齢を小学6年生まで拡大します。

(3) 厚真中央小校区の児童クラブを2クラブに分割

受入れ対象年齢の拡大に伴い、人数の多い厚真中央小校区の児童クラブを2つのクラブに分割し、それぞれのクラブの規模と特性に応じて指導員を配置します。中央地区児童会館には専用ルームが増設されます。

(4) コーディネーターを配置

各クラブ間や関係機関との円滑な連絡調整、事業内容の充実を図るため児童クラブコーディネーター1名を配置します。

(5) 上厚真放課後児童クラブは新設された厚南児童会館で実施

厚南地区の児童クラブは上厚真に完成した「厚南児童会館」を拠点に児童クラブを実施します。

今後も放課後や学校休業日に適切な遊び、体験、学習及び体づくり等の場を提供し、お友達や指導員と共に豊かな生活をつくることを通じて、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等、健全な育成を図るとともに、保護者の皆さんの仕事と子育ての両立を支援するという基本機能を大切に、充実を図っていきます。(背景の写真が今回新設された「厚南児童会館・宮の森こども園」です)

## エレンさんの英会話教室

アメリカ出身の町ALT(外国語指導助手)エレン先生による5月から7月期の英会話教室の受講生を募集します。

日程 5月26日【木】から7月14日【木】までの  
毎週木曜日 午後6時30分から7時30分  
場所 青少年センター2階 研修室  
対象 英会話に興味のある中学生以上の町民の方  
内容 英会話や筆記を交えながら、外国の文化や生活習慣等について学びます。

申込み 教育委員会 社会教育グループ  
問合せ Tel27-2495 担当:海沼

※受講を希望される方は、必ず申込みをしてください。



## 3月臨時・定例教育委員会

3月8日に開催された臨時教育委員会及び3月28日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

平成28年度4月1日付教職員人事の内示について(1件/臨時教育委員会)厚真町学校給食センター運営委員会について、厚真町学校給食における食物アレルギー対応委員会について、平成30年度からの海外修学旅行実施に向けた保護者意向調査(第1次)の結果概要について(3件/定例教育委員会)

◆議案

平成28年度厚真町公立学校教職員人事の内申について、厚真町放課後児童クラブの運営規程の制定について(2件/臨時教育委員会)厚真町教育振興基本計画の策定について、第2次厚真町子ども読書活動推進計画の策定について、厚真町学童保育運営事業の所管替えについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について、厚真町教育委員会表彰要項の一部改正について、厚真町教育委員会事務事業の点検及び評価実施要綱の一部改正について、厚真町教育委員会事務局組織規則の一部改正について、厚真町フッ化物洗口事業実施要綱の一部改正について、厚真町教育委員会事務局職員の人事について(8件/定例教育委員会)

★問合せ 教育委員会 学校教育グループTel27-2494

# 厚真町スポーツセンター・あつまスタードーム利用案内

- ◆特徴 四季を通じて利用できる屋内運動場です。町内外を問わず大勢の人たちで賑わっています。スポーツ団体の練習や大会・合宿等にも利用されています。
- ◆開館時間 平日・土曜日 8:45～21:00  
日曜・祝祭日 8:45～17:00
- ◆休館日 年末年始(12月31日～1月5日)



## ◆施設内容

スポーツセンター	アリーナ 1,250㎡、バドミントン6面、卓球12面 バスケット・バレーボール・テニスコート各2面
あつまスタードーム	アリーナ 2,400㎡、ゲートボール4面、テニスコート3面 フットサル2面、柔・剣道場各1面、弓道場(3人立)、トレーニング室

## ◆利用方法

- 一般(個人)利用
  - \*町民は随時受付で使用料は無料(ただし、大会・合宿等が入った場合はお断りする場合があります)
  - \*町民以外は、2カ月前の月の1日から受付
  - \*使用申請書に必要事項を記入の上、受付窓口に提出
- 専用(団体)利用
  - \*町民は随時受付で使用料は無料(ただし、大会・合宿等が入った場合はお断りする場合があります)
  - \*町外の団体は、2カ月前の月の1日から受付
  - \*使用申請書に必要事項を記入の上、受付窓口に提出
  - \*団体での使用は、10名以上
- 大会・合宿等利用
  - \*町民は随時受付で使用料は無料
  - \*町外の団体で、規模が50人未満の場合は5カ月前の月の1日から受付  
ただし、合宿等で町の施設等に宿泊する場合は、6カ月前の月の1日から受付
  - \*町外の団体で、規模が50人以上の場合は、1年前の月の1日から受付
  - \*使用申請書に必要事項を記入の上、プログラムと合わせて受付窓口に提出



## ◆電話予約受付(2施設共通)

電話で予約ができますが、許可証の発行をもって決定しますので、『使用申請書』は必ず、提出してください。

## ◆使用料

### 【スポーツセンター】

1時間当り

区分			夏期 使用料	冬期 使用料
団体	アリーナ	全面使用	大学・一般 1,620	2,100
			高校生 1,220	1,580
			小・中 1,020	1,320
	1/2使用	大学・一般	810	1,120
		高校生	610	810
		小・中	510	710
	1/6使用	大学・一般	400	520
		高校生	300	400
		小・中	200	260
会議室			300	400
個人	アリーナ	大学・一般	200	300
		高校生	150	200
		小・中	100	150

(夏期:5月～10月 冬期:11月～4月)

### 【スタードーム】

1時間当り

区分			夏期 使用料	冬期 使用料
団体	アリーナ	全面使用	大学・一般 2,440	3,260
			高校生 1,830	2,440
			小・中学生 1,530	2,040
	1/2使用	大学・一般	1,220	1,630
		高校生	910	1,220
		小・中学生	810	1,120
	1/3使用	大学・一般	810	1,120
		高校生	610	810
		小・中学生	510	710
	1/4使用	大学・一般	610	810
		高校生	510	710
		小・中学生	400	610
	柔剣道・弓道場等		大学・一般 2,140	2,850
			高校生 1,830	2,440
		小・中学生 1,220	1,630	
ミーティング室			400	610
個人	アリーナ	大学・一般	200	300
		高校生	150	200
		小・中学生	100	150
	柔剣道・弓道場等	大学・一般	200	300
		高校生	150	200
		小・中学生	100	150
	トレーニング室	大学・一般	200	200
		高校生	100	100
	トレーニング室 利用回数券	大学・一般	11枚綴り 2,040円	
		高校生	11枚綴り 1,020円	

## ◆問合せ

厚真町字本郷234番地の6  
TEL:0145(27)3775  
FAX:0145(26)7015

「スポーツセンター・スタードーム利用予定表」「使用申請書は、スポーツセンター窓口に配置していますのでご利用ください。」

# 図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)



4月23日～5月12日は  
“こどもの読書週間”です

標語：『四角い本に まあるい心』

実は4月は図書に関する記念日が多い月です。2日は「国際子どもの本の日」、23日はスペイン・カタルーニャ地方で始まった本を贈る「サンジョルディの日」、4月23日から5月12日までが「こどもの読書週間」です。

新学期も始まってひと月がたち、新しい生活リズムにも慣れてきた頃でしょうか。新しいお友達ができて、毎日楽しく生活できているお子さんもいらっしゃると思います。また、進級して今までの勉強より難しくなって、うまくいったりいかなかったり悩んでいるお子さんもいるかもしれません。

ちょっとだけ時間ができた時、気分転換をしたい時、頭を休めたい時などに読書はおすすめです。大好きな1冊をお友達に読んでみて！とすすめることでより仲良くなれたり、何気なく手に取った本から、思いがけないヒント・きっかけを手に入れ、思いがけず成長できるかもしれません。同じ悩みを抱えている主人公が頑張っていれば、その姿に励まされることもあるのではないのでしょうか。

自分で本を選ぶことが難しければ、ぜひお母さんお父さんのおすすめの1冊を教えてください。ここが好き、その本を読んだご自身のきっかけなど添えておすすめしてあげると、興味深く読んでくれるはずですよ。

青少年センター図書室では、こどもの読書週間に合わせて親子で楽しめる児童書や絵本の展示を行っています。ぜひお子さんと一緒にお立ち寄り下さい。

## 青少年センターからのお知らせ

### 夜間プラネタリウム投映会

「春の星座と神話」

今月は、春の星座と神話（おとめ座）を中心にお話をしていきます。

また、空が晴れていれば天文台で実際に星を観察しますので、ぜひご参加ください。当日は、木星が見頃です。

と き 5月31日（火）午後6時30分～

ところ 青少年センター2階プラネタリウム室

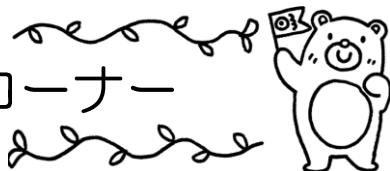
※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。



（木星）



# 新着図書コーナー



平成27年1月23日発行

掲載した本以外にも新着図書があります。ぜひ図書館へ！

## 一般書

『擬宝珠のある橋』

宇江佐 真理/著



1997年から続いた人気のシリーズも今作で15作目です。作者の死去によりこの巻で最終巻になりました。

- ・怪奇文学大山脈 1～3 荒俣宏/編
- ・あさが来た 下 青木 邦子/ノベライズ
- ・ST警視庁科学特捜班シリーズ 今野敏/著
- ・五代友厚 士魂商才 佐江 衆一/著
- ・家族はつらいよ 山田洋二/原案

## 児童書

『天国にとどけ！ホームラン』

漆原智良/文 羽尻利門/絵



東日本大震災で、大切な家族を失った父子が、気仙沼にバッティングセンターをつくるという夢を実現したノンフィクションです。

- ・気をつけろ！猛毒生物大図鑑 今泉 忠明/著
- ・車夫 いたう みく/著
- ・真田十勇士 1～3巻 小前 亮/著
- ・ワンダー R. J. パラシオ/著

## 実用書

『野菜品種はこうして選ぼう』

鈴木 光一/著



野菜・野菜苗を作り直売所と種苗店を営んでいる著者が、360品種の野菜の特性と品種選びのノウハウを紹介します。

- ・65歳で人生を変える 本岡 類/著
- ・真田丸の謎 戦国時代を「城」で読み解く 千田 嘉博/著
- ・大橋鎮子と花森安治 「歴史読本」編集部/著
- ・いのちをむすぶ 佐藤 初女/著

## 絵本

『まかしとき！』

くすのきしげのり/文 のしさやか/絵



お手伝いをしたことがないななえちゃん。おばあちゃんがけがをしましたがお父さんはまだ帰ってきません。そんな時「まかしとき！」初めてのお手伝い、ごちそうを作ることができるのかな？

- ・にんじんのにんにん ふるや かおる/作
- ・かようびのドレス ポニ・アッシュバーン/作
- ・はるのおとがきこえるよ マリオン・デー・パウアー/作
- ・ざしきわらしのおとちゃん 飯野 和好/絵

## ～図書室からのお知らせ～

### ■5月の休館日

3日【火】は憲法記念日、4日【みどりの日】、5日【こどもの日】の為お休みです。

### ■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）  
午前9時から午後7時（火・木）

### ■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

### ■5月の移動図書

6、20、27日【金】 12日【木】  
上厚真小学校 午前10時10分～25分  
18日【水】  
ともいぎ荘 午後2時00分～2時30分

### ■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー  
26日【木】 午前10時30分～11時

# ☆放課後子ども教室☆

近くなったかと思えば遠ざかり、そしてまた少しずつ歩みを進める春の足音。福寿草やフキノトウ、エゾエンゴサクなど春の植物を目にしたたり、種まきやハウスの準備が始まったという話を聞いたりすると、暖かな季節がやってくるワクワクとした嬉しさを感じる今日この頃です。

さて、厚真町放課後子ども教室も5年目の春を迎えました。4月8日（金）より放課後子ども教室の新学期も始まり、春休み明けの子どもたちが元気に「ただいま！」と帰ってくる日々を送っています。進級し、新しい学年となった子どもたち。心なしか年度末よりもりりしい顔つきになり、学校生活を楽しんでいる様子が見えがえます。高学年の活動日には、これまで低学年の活動日に参加していた子どもたちが、新4年生として仲間入りを果たしました。低学年の活動日には、5月から新1年生を迎えます（新1年生の参加は上厚真小5月9日／中央小5月12日よりスタートです。学校経由で配布している放課後子ども教室申込書にて登録をお願いします）。4月のプログラムでは、新しいメンバーになった初回、異学年との交流ができるようなレクリエーションゲームを行いました。学年をまぜてチームを組み、協力して課題をクリアするゲームでしたが、みんなで和気あいあいと遊んでいる姿は、とてもほほ笑ましかったです。ときにケンカをしたり、ぶつかったりすることもあるかもしれませんが、今年一年、一緒に活動をする仲間として、お互いに成長し合える関係性を築いてほしいと思います。そのために、プログラム内容を工夫したり、適宜、働きかけたり辛抱強く見守ったり、私たちスタッフも真剣に子どもたちと向き合いたいと思っています。



放課後子ども教室が始まって5年。これまでに4学年の卒業生を送り出してきました。中学生となった子どもたちから「中学生の放課後教室はないの？」という声を耳にしていたこともあり、いつか中学生向けのプログラムをやりたいという想いを抱いてきましたが、念願叶い、3月26日（土）と27日（日）に『中学生版放課後子ども教室』を開催しました。26日は旧富野小学校を借り、放課後教室でやっていた軽スポーツや室内雪合戦など、みんなのリクエストに応じて遊び尽くす1日を過ごし、27日は厚真の素材を使ったおみやげ品の商品企画を考えるワークショップを行いました。参加してくれた中学生は、元気の良さや明るい笑顔は変わりませんが、小学生以上によく遊び、大人の発想を超えていく創造力を備え、たくましく頼もしい存在になっていました。そんな中学生と一緒に活動できたことがとても嬉しかったです。今回の中学生版放課後教室には、札幌市で活躍するNPO法人 ezo rock（エゾロック）から3名の大学生がボランティアでかかわってくださったり、役場職員や地元の生産者の方など、地域の方々にもご参加をいただきました。厚真の子どもたちのために協力をいただける環境に、改めて感謝を申し上げます。放課後教室1年目に送り出した子どもたちは、この春、高校生になりました。志望校へ入学したという嬉しい春の便りも届き、充実した学校生活を送ってくれることを願うばかりです。子どもたちに負けないよう、私たちも頑張りたいと思います。

